

吃音研究と臨床の講演会

「吃音研究と臨床の進歩について」(通訳付)

半世紀近く吃音研究に従事し、その第一人者として、吃音研究と臨床を欧米でけん引してきたイリノイ大学・テルアビブ大学名誉教授の**エフド・ヤイリ**博士をお招きし、博士の研究の集大成を、視聴覚を駆使して講演していただきます。Ehud Yairi & Carol H. Seery 著 *Stuttering Foundations and Clinical Applications* が PERSON から出版されたばかりです。

講演会では、最初に、この企画の主催を代表して新潟リハビリテーション大学の**氏平 明**が、「吃音者と非吃音者の非流暢性」を、そしてエフド・ヤイリ博士が「吃音研究と臨床の進歩について」を講演します。貴重な機会ですので、どうぞ誘いあわせのうえお越してください。

日時：2014年11月1日（土） 13：10～16：45（13：00 受付開始）
場所：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 中会議室(302) 3階

〒950-0078 新潟市中央区万代橋6番1号 Tel. 025-246-8400

<http://www.tokimesse.com/>

参加費無料、事前申し込み不要



講師：エフド ヤイリ イリノイ大学・テルアビブ大学名誉教授

略歴：テルアビブ大学でアフリカ研究と心理学で学士、アイオア大学大学院で言語病理学修士、同言語病理学博士を取得。1977年よりイリノイ大学音声・聴覚科学学科の教授、2004年、同名誉教授、1995年からテルアビブ大学客員教授、現在同名誉教授、1989年から、National Institute of Health から継続して大規模な研究費を受け子供の吃音について、組織的・精力的に研究を進め、今日に至るまで世界における吃音研究をするリードする立場にある。ASHAから2002年にその業績に対して最高の名誉賞を、2012年にも業績出版の達成賞を受けている。

講師：氏平 明 新潟リハビリテーション大学客員教授

略歴：大阪外国語大学で学士（言語・地域文化学）、修士（言語・文化学）、大阪大学で博士（文学）を取得、茨城大学留学生センター教授、豊橋技術科学大学総合教育院教授を経て福岡教育大学附属特別支援教育センター研究部員、新潟リハビリテーション大学・豊橋技術科学大学客員教授、研究は主に発話の非流暢性の音声学的・言語学的研究 主な著作は "Stuttering in Japanese" In P.Howell and J.V.Borsari (eds) *Multilingual Aspect of Fluency Disorders*. (2011)等

主催：新潟リハビリテーション大学、福岡教育大学、日本音声学会、科学研究費補助金「言語の普遍性と個別性を考慮した言語障害の症状の解明とそのセラピーの研究（課題番号：23320083 代表：氏平明）」チーム

後援：日本コミュニケーション障害学会、吃音流暢性障害学会、新潟言語聴覚士協会、全国言語聴覚士協会、全国言友会連絡協議会、京都言語障害研究会 協賛：日本音韻論学会